

第64回消防職員意見発表会 出場者

出場順	所属	階級	氏名	演題
1	浪速消防署	消防司令補	竹田 茂広	市民のために
2	人事課	消防士長	衣川孝一郎	違和感
3	北消防署	消防士長	平 慶彦	マイルールブック
4	水上消防署	消防士	西口 拓馬	グローバルな消防士
5	福島消防署	消防士	高嶋 楓	きっかけ
6	淀川消防署	消防士	泉 紘平	日常を守るため
7	天王寺消防署	消防士	安氏 功平	大阪の未来は、子供の未来
8	東住吉消防署	消防士	千原 卓也	営業マン
9	鶴見消防署	消防司令補	荻 宏光	コメンタリードライブ
10	浪速消防署	消防士長	美濃部悠樹	過去と同じ過ちを繰り返さないために
11	高度専門教育 訓練センター	消防士長	菅田 光	伝えたいこと
12	都島消防署	消防司令補	砂山 周作	防災 DE クールジャパン

講評



日本放送協会
大阪放送局
中村 宏

プロフィール

NHKアナウンサーとして釧路、福岡、京都、金沢、東京、名古屋などで勤務。東京では平日の朝4時間の「ラジオあさいちばん」を担当。2010年からは大阪からの全国放送「ラジオ深夜便」を担当。OBとなった現在もインタビューや音楽コーナーを自分で制作しながら、毎月第1・第3金曜日の夜11時15分から翌朝5時まで、5時間45分にわたってマイクに向かっておられます。

毎年、皆様の発表をお聞きして声を届ける大切さを感じます。発表者の皆様は、腹から声が出ていて、素晴らしいと思います。消防は、現場活動で声が届かないと意思疎通ができません。防災の指導でも、人に話が伝わらないと困るわけです。それは単に声が大いという問題ではなくて、話し方や話す内容、順番が重要です。近年、火災件数が減少してい

ます。機械の進歩などもありますが、職員皆様の予防災の取り組みが、成果を結んできていると思います。

今年発表を通じて感じたことは、法令順守と予防災の大切さです。特に予防災が大切になることを感じます。

世の中で輝いて生きている方には二種類あります。一つは、小さな頃から好きだったことを職業にした人です。もう一つは興味なかったけど、就いた職で輝く人です。

例えば前者には昆虫好きの少年が大人になり、昆虫の研究で世界的な成果をあげている大学教授や第一線で活躍をしている昆虫写真家などがいます。また、後者には、和紙に全く興味なく就職した和紙の販売会社でその素晴らしさに気づき、手漉きの技術を残していこうと自分で会社を興し、京都で大活躍している和紙作家がいます。

子どもの頃から憧れて消防士になった方も、消防の職業に就いてから、やりがいを見つけた方もいるでしょう。消防という仕事は一生、命をかけてやっていくにふさわしい仕事だと思えます。

素晴らしい仕事が出来ていることに感謝して輝いてください。